

東北支部

支部長 木村 祐輔

軽暖の候、日本死の臨床研究会東北支部会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

2024年元旦に能登半島を大きな地震が襲いました。連日大変な被害が報道されています。東北に住む者としては2011年のあの日をどうしても思い出してしまいます。寒い日が続いていました。しかし報道で見る被災地は、あの時よりはるかに厳しい天候が続いており心配でなりません。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心から願うばかりです。

2024年の東北支部会のお知らせをいたします。今年は、東北大学大学院医学研究科緩和医療学分野の井上彰先生に主催をご担当いただき、2024年5月18日（土曜日）に、宮城県医師会を会場として開催いたします。特別講演会では、岡部医院仙台院長の河原正典先生より『在宅緩和ケア医が感じた「お迎え体験」について』と題してお話を頂戴する予定です。東北支部会として実に5年ぶりの対面開催となります。皆様方におかれましては是非とも現地に足をお運びいただき、多くの支部会員の方々との交流により、東北における『これからの死の臨床』を共に考える機会にさせていただければ幸いです。

何卒よろしくお願い申し上げます。

【2024年度日本死の臨床研究会 東北支部会】

- 大会長：井上 彰先生（東北大学大学院医学研究科緩和医療学分野）
- 会期：2024年5月18日（土）13:50～15:30
- 会場：宮城県医師会館
- 特別講演会

講演：在宅緩和ケア医が感じた「お迎え体験」について

講師：河原正典先生（岡部医院仙台院長）

【東北支部入会のご案内】

本会は、『死の臨床』において患者さんやご家族への真の援助の道を全人的立場から考えていくことを目的としています。ご関心のある方はどなたでも入会を歓迎いたします。入会手続きにつきましては、お気軽に下記事務局までご連絡ください。支部入会金、並びに支部年会費ともに1000円です。

【日本死の臨床研究会 東北支部事務局】

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通2丁目1-1

岩手医科大学附属病院緩和医療学科

電話：019-613-7111（代表）

FAX：019-907-8468

担当：木村・川村